

平成28年8月25日

南海電気鉄道株式会社

なんばCITY・なんばパークスで 訪日外国人向けサービスを強化します

- ◆なんばCITYで手荷物一時預かりサービスを開始
- ◆なんばCITY・なんばパークスで中国のSNS「微博」「微信」による情報発信を開始
- ◆なんばCITY・なんばパークスのFree Wi-Fiスポットを増設

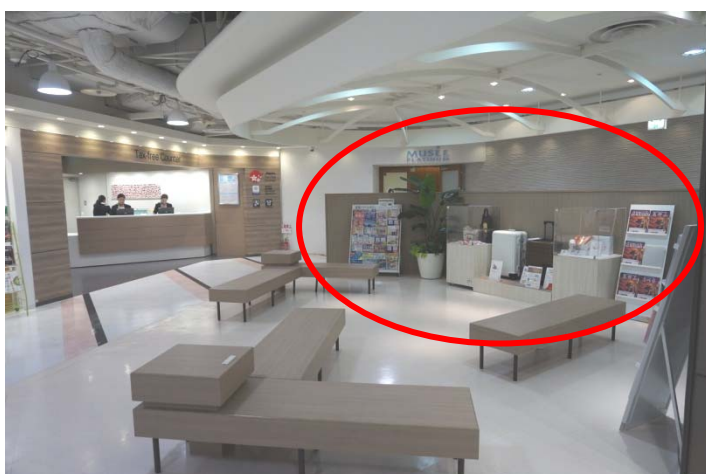
南海電鉄（社長：遠北 光彦）では、増加する訪日外国人の利便性向上のため、運営する商業施設「なんばCITY」と「なんばパークス」において、様々な訪日外国人向けサービスを強化します。

9月1日には、なんばCITY本館地下2階免税カウンター前レストスペースに、手荷物一時預かり窓口を設置してサービスを開始します。

また、なんばCITYとなんばパークスの両施設では、中国人旅行客向けに、中国で人気のSNS「微博（ウェイボー）」「微信（ウィーチャット）」による情報発信を8月1日から開始したほか、9月下旬から「Osaka Free Wi-Fi」のスポットを増設します。

南海電鉄では、中期経営計画「深展133計画」において「関空・インバウンド事業の拡大」を基本方針の1つに掲げており、今後も様々な取組みを推進していきます。

詳細は別紙のとおりです。



なんばCITY地下2階免税カウンター前のレストスペース
（赤円付近）に手荷物一時預かり窓口を設置します



なんばCITYに設置する「手荷物一時預かり」窓口は、国土交通省が推進する「手ぶら観光」のサービス拠点に認定されており、共通ロゴマークの掲示によって訪日外国人のお客さまに分かりやすいサービスを提供します。

別紙

なんばCITY・なんばパークスの訪日外国人向けサービス強化について

1. 手荷物一時預かりサービス

(1) 開始日時

平成28年9月1日(木) 10時

(2) 開設場所

なんばCITY本館地下2階免税カウンター前レストスペース

(3) 料金

手荷物1個につき1日700円(税込)

※3辺の合計250cm・重量40kg・価格30万円未満の手荷物に限ります

(4) 受付時間

なんばCITY営業日の10時～18時

(5) 運営会社

ヤマト運輸株式会社

2. 中国のSNS「微博(ウェイボー)」「微信(ウィーチャット)」による情報発信

(1) 開始日

平成28年8月1日(月)

(2) 発信内容

なんばCITYとなんばパークスの店舗情報やお得情報など

(3) 情報発信の頻度

「微博」「微信」それぞれで、ほぼ毎日1回程度

【ご参考】

微博とは・・・中国版Twitterとも言われるミニブログ

微信とは・・・中国版LINEとも言われるメッセージングアプリ

3. 「Osaka Free Wi-Fi」スポットの増設

(1) 増設時期

平成28年9月下旬

(2) 増設数

なんばCITY 4カ所(現在9カ所 → 13カ所)

なんばパークス 4カ所(現在12カ所 → 16カ所)

このマークの付近でご利用いただけます



<ご参考 なんばCITY・なんばパークスにおける訪日外国人向けサービスの推移>

平成26年 9月 なんばCITY本館地下1階に「祈祷室」設置

平成27年 2月 両施設で「Osaka Free Wi-Fi」サービス開始

平成27年 7月 なんばパークスに「免税カウンター」開設

平成27年10月 なんばCITYに「免税カウンター」開設